

奥出雲町新型コロナ対策事業

奥出雲町プレミアム観光券をご利用ください

町内の観光施設及び宿泊施設で利用できるお得な観光券を発行します。

利用できる内容

利用対象施設の入館料、日帰り入浴料、宿泊料のほか、おみやげ代金、飲食代に利用いただけます。利用対象施設は12月広報に併せて配布する専用チラシにてご確認ください。

販売価格

3,000円 3,000円で5,000円分のプレミアム観光券が購入できます。
※1人あたり5セットまで購入することができます。

販売・利用期間

令和2年12月10日(木)から令和3年3月28日(日)利用分まで

販売場所

奥出雲町観光協会 道の駅酒蔵奥出雲交流館
雲州そろばん伝統産業会館、道の駅奥出雲おろちルーブ
※休館日がありますので、事前にホームページ等でご確認ください。



【お問い合わせ】
(一社)奥出雲町観光協会
有線：31-2260
電話：54-2260

国民年金保険料の申請免除について

国民年金保険料の納付が経済的な理由で困難な場合に、次の要件に該当し申請して認められると保険料の納付が免除または猶予される制度があります。

保険料免除・納付猶予を受けた期間は、年金の受給資格期間として計算されるほか、けがや病気で障害や死亡といった不慮の事態が発生した場合は、障害年金や遺族年金を受け取ることができます。(要件あり)

申請免除の種類

- 全額免除
- 一部免除(4分の3免除、半額免除、4分の1免除)
- ※一部免除の場合は、納付すべき一部の保険料を納付しないと、その期間の一部免除が無効(未納と同じ)となります。
- 納付猶予

免除・納付猶予期間

7月から翌年6月末までです。

申請できる方の要件

- 前年所得が基準額以下の方(基準額は世帯構成により異なります。)
- 生活保護法による生活扶助以外の扶助を受けている方
- 失業や被災により保険料を納付することが困難な方
- 新型コロナウイルス感染症の影響により保険料を納付することが困難な方

申請に必要なもの

- 年金手帳又はマイナンバーカード
- 印鑑
- 雇用保険受給資格者証等の写し(失業の理由により申請される方)

申請場所

奥出雲町役場 町民課(仁多庁舎)、税務課(横田庁舎)
お問い合わせ 松江年金事務所 電話：0852-23-9540(代表)
町民課戸籍グループ 有線：31-5109 電話：54-2510

(一社)仁多地区建設業協会から非接触型体温計が3台寄贈されました

12月3日、役場仁多庁舎にて、(一社)仁多地区建設業協会から非接触型体温計が教育委員会に2台、高校に1台寄贈されました。この贈呈式には、勝田町長や佐藤建設業協会会長ら関係者8名が参加しました。

毎年、建設業協会が開催している将来の担い手確保のためのイベントが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったことから、コロナ禍でも学校の活動等ができるよう感染防止対策への活用のため寄贈されました。

今後、教育委員会が受け取った2台は、町内の学校や公民館からの依頼により、イベント等へ貸し出しされる予定です。



左から松田教育長、黒田横田高校校長、勝田町長、佐藤建設業協会会長、大谷副会長、川角青年部会長、安部青年部副会長、渡部事務局長

世界農業遺産認定申請に係る現地調査が行われました

奥出雲町農業遺産推進協議会は、世界農業遺産認定に向け、本年7月に「たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」の申請を農林水産省に行い、9月18日に1次審査を通過しました。

これを受け、12月1日に世界農業遺産等専門家会議の広田純一委員(岩手大学名誉教授)が来町し、現地調査が行われました。

広田委員は、福頼や稲原の棚田、稲作・畜産を営む農家など町内6ヶ所を訪れ、鉱山跡地を棚田に変えた歴史や農文化、資源循環による農業の状況などについて調査されました。

広田委員は、「山の尾根が田んぼになっている所や*鉄穴残丘の景観が特徴的だ」と奥出雲町の印象について話されました。

1次審査通過時に、鉄穴流しにより造成された農地であることを裏付ける証拠の必要性を指摘されており、砂鉄採取のために山を削った場所や削られた土砂を流し込んだ場所等を記した町の地図を作成しました。今回の現地調査では、この地図を用いて説明を行い、証拠が充実したと評価されました。

令和3年1月下旬には、2次審査のプレゼンテーションが行われ、今回の現地調査も踏まえ、2月頃に世界農業遺産認定申請に係る国内承認地域が発表されます。



横田地区稲原で鉄穴流し跡地の説明を聞く世界農業遺産等専門家会議の広田委員(中央)

※墓地や鎮守の社などがあつたために鉄穴流しで削らずに残された小山

奥出雲町・株式会社ジュンテンドー 災害救助物資の調達に関する協定書を締結

11月24日、奥出雲町と株式会社ジュンテンドーの「災害救助物資調達に関する協定書」の調印式が役場仁多庁舎で行われました。この協定により災害時に必要な物資を優先的に調達していただけるようになります。

株式会社ジュンテンドーの田中取締役総務人事部長は「住民の方々と関係の深い町役場と締結することで、スピーディーで細やかなサービスを提供できる」と力強く話されました。また、勝田町長は「避難所に迅速に物資を送っていただけることは心強い」と期待の言葉を述べられました。



勝田町長と(株)ジュンテンドーの田中取締役総務人事部長

横田中学生に一日人権擁護委員を委嘱

12月4日から10日まで人権週間であることから、12月3日、人権啓発活動として、2020日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場した横田中学校吹奏楽部の廣原瑞心さんと青木日葉さんに松江地方務局から一日人権擁護委員が委嘱されました。

いじめや虐待などの人権問題のほか、今年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染者や医療従事者、これらの家族に対する偏見や差別が発生しており、人権を尊重することや他人の人権にも配慮した行動をとることの大切さを町民の皆さまに考えていただくため、委嘱された2名は横田蔵市で人権に関するチラシを買い物に訪れた方へ配布しました。廣原さんは「立ち止まって話を聞いてくれて嬉しかった」と感想を述べられました。



廣原瑞心さん(左)と青木日葉さん(右)